



平和首長会議ニュース

2021年4月 / 第136号

平和首長会議加盟都市数

165 か国・地域 8,024 自治体

加盟都市数 10,000 都市を

目指しています！

日本国内加盟自治体数：1,734

(2021年4月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

🌐 ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

🐦 ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆第10回平和首長会議総会を再延期します
- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2021の応募をお待ちしています
- ◆ウェブサイト「核兵器に関する資料室」ページを新たに作成しました
- ◆平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 165か国・地域 8,024自治体
- ◆平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)

■第10回平和首長会議総会を再延期します

平和首長会議では、第10回平和首長会議総会の開催について、新型コロナウイルスの感染拡大により、2020年の開催を取り止め、2021年8月の開催に向けた調整を行ってきました。

しかしながら、2021年4月現在も依然として収束の兆しが見えず、海外からの入国や多人数が集まることが可能となる見通しが立たないことに加え、医療支援や経済対策に係る抛出、税収減などによる財政のひっ迫により、特に海外の加盟都市から来日が困難となっているとの表明があったことを踏まえ、役員都市と協議した結果、総会開催を更に1年延期し、2022年8月に広島市で平和首長会議設立40周年記念を兼ねて開催する方向で調整することといたしました。

第10回平和首長会議総会

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えないため
2022年8月頃に再延期します。



一方で、2020ビジョンは2020年末で終了しており、2021年1月の核兵器禁止条約の発効により核兵器廃絶に向けた機運が高まっている中で、次期ビジョン及び行動計画の策定は先延ばしにできないため、2021年8月までに第12回平和首長会議理事会をオンラインで開催し、次期ビジョン及び行動計画を策定することといたしました。

ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2021の応募をお待ちしています

平和首長会議では、加盟都市における平和教育の更なる充実を図るため、世界165か国・地域の8,000を超える加盟都市の6歳以上15歳以下の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテスト2021を実施し、作品を募集します。是非、ご参加ください。

- 募集部門:①「6歳～10歳の部」
②「11歳～15歳の部」
- 応募点数:1都市につき各部門5作品まで
- 提出期限:2021年11月1日 17時
- 作品提出・問い合わせ先:
(Email) mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp



絵画コンテストの詳細については、平和首長会議ウェブサイトをご確認ください。

http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives/2021_Art_Competition.html

また、参加自治体がこのコンテストを活用し、独自の新たな取組へと発展させている事例をご紹介します。

展示会の開催

【実施都市:神奈川県海老名市、千葉県浦安市、茨城県取手市、東京都府中市、東京都調布市、千葉県佐倉市】

各都市ともに、平和の尊さを伝えるため、市内から集まった全作品を展示しました。

グッズ作成

【実施都市:東京都府中市】

平和関連事業等で配布するため、2019年のコンテストにおいて同市の子どもが優秀賞を受賞した作品を使用して、市独自のクリアファイルを作成しました。

その他事業

【実施都市:秋田県秋田市】

2021年からの「国際交流マスタープラン」の表紙に、2020年のコンテストにおいて同市の子どもが優秀賞を受賞した作品を採用しました。



◀(左上:取手市、左下:調布市、
右上:府中市、右中央:浦安市、
右下:秋田市)

=====
■ウェブサイト「核兵器に関する資料室」ページを新たに作成しました
=====

平和首長会議では、2017年に策定した行動計画に基づき、核兵器の非人道性及び脅威について市民の認識を深め、核兵器廃絶を市民社会の総意とするための啓発活動を推進しています。

この度、平和首長会議のウェブサイト「核兵器の現状」・「核兵器の非人道性」・「核軍縮の現状」について情報をまとめた、「核兵器に関する資料室」ページを新たに作成し、公開しました。このページでは、核兵器に関する最新のデータや被爆体験証言ビデオへのアクセスリンクを掲載しているほか、今年1月に発効した核兵器禁止条約を含め、難解な国際条約や馴染みの薄い用語について、分かりやすい言葉で説明しています。

各自治体における平和施策推進や活動に、是非ご活用ください。

- 【掲載項目】**
- **核兵器の現状**
 - ・核弾頭保有数
 - ・核兵器・核物質に関するデータ
 - **核兵器の非人道性**
 - ・証言を聴く・体験記を読む
 - **核軍縮の現状**
 - ・核兵器不拡散条約(NPT)
 - ・核兵器禁止条約(TPNW)
 - **参考資料**
 - ・書籍
 - ・ウェブサイト

 「核兵器に関する資料室」ページ
<http://www.mayorsforpeace.org/jp/library/index.html>



=====
■平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします
=====

平和首長会議では、2013年8月の第8回総会において、今後の活動の活発化と、連帯意識のより一層の強化を図ることを目的に、メンバーシップ納付金制度の導入を決定し2015年度から1自治体当たり年額2,000円の負担をお願いしています。

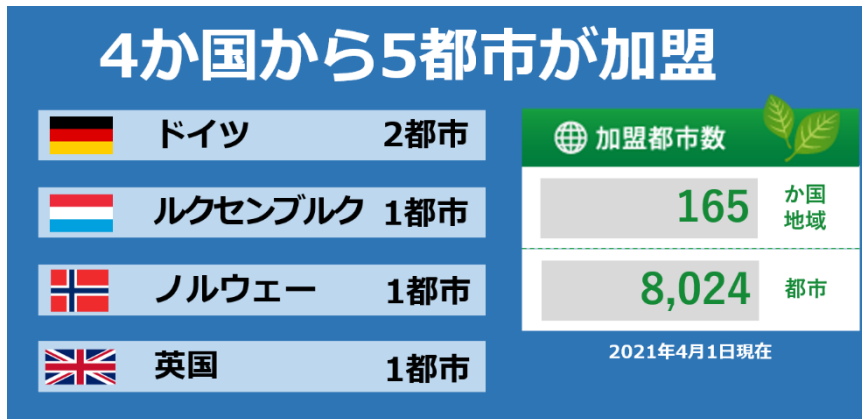
加盟自治体の皆様へは、本年4月1日付けで請求書等を郵送しております。納付金の納付期限は6月30日(水)となっておりますので、ご対応のほどよろしく願いいたします。また、納付が困難な自治体の皆様におかれましては、その旨をご連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、仮に納付金を負担しない自治体があったとしても、その自治体に離脱を求めることはしない旨、第8回総会で決定していますので、そうした場合でも、引き続き平和首長会議に加盟していただき、市民の平和な生活を守るため、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け共に行動していただければ幸いです。

皆様のご協力をお願いいたします。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp
▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452


■■平和首長会議加盟自治体数: 165 か国・地域 8,024 自治体



加盟都市数10,000都市を目指しています！ 

4月1日付で、5自治体が加盟し、加盟自治体数は8,024となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟 都市名	合計	備考
ドイツ	エネペータール、 シュヴァルムタール	711	副会長都市及びリーダー都市のハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
ルクセンブルク	ベルランジュ	59	同国から3か月連続の加盟。
ノルウェー	ソートラン	105	
英国	コーンウォール	84	

 4月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/03_newmembers/2021/newmembers2104_jp.pdf


 加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/01_monthly Updating/07_membership_by_country_jp.pdf


■■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください

2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)※」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

※次期ビジョン及びそれに基づく次期行動計画は、2021年8月までにオンラインで開催する第12回平和首長会議理事会で策定する予定です(P.1に関連記事)。現行の行動計画は、それまで暫定的に終期を延長することとし、取組を継続しています。

 「平和首長会議行動計画」(平和首長会議ウェブサイト) (PDF) :

http://www.mayorsforpeace.org/jp/conferences/general/data/9th_gc/9th_gc_Action_Plan_jp.pdf

 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト) :

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html>



「核兵器禁止条約」の
早期締結を求める署名活動に
取り組んでください

平和首長会議原爆ポスター展を
開催しましょう

「広島・長崎講座」の普及に
ご協力ください

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、行動計画に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や「平和文化」の振興に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

行事等のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでにお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

🔗 平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

TEL:082-242-7821 FAX: 082-242-7452

=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。



※この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

 被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html#section04>

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第78回）
=====

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

1945年8月6日を記録した元中国新聞社カメラマン松重美人さん(1913～2005年)撮影のネガフィルム5点が、広島市の重要有形文化財に指定されました。原爆に遭った人間の惨禍を当日に収めた、唯一の写真として知られています。

広島が未曾有の混乱に陥った1945年8月6日当日に地上から撮影された原爆写真は、わずかしかなかった。中国新聞社が原爆資料館の資料などを基に2007年に調べた際、確認できた写真は35枚ありました。そのうち25枚は原子雲の写真です。原子雲の下での市民の悲惨な姿を収めたのは松重さんの5枚のみで、今に伝える貴重な資料です。

原爆資料館は2019年4月の本館リニューアルに合わせ、御幸橋のカット2枚のパネル(各約2メートル四方)を従来よりも広いスペースに展示しました。広範囲に被害が及んでいたことを強調する一方で、無差別に襲われた市民の姿を際立たせています。

広島、長崎両市は1995年から続ける海外原爆展で、松重さんの写真を必ず紹介しています。2020年は米国ハワイ州の真珠湾の戦艦ミズーリ記念館(ホノルル市)でも展示されました。

貴重な歴史の「証人」を、「こんなことは決して再び起こってはならない」という警告として、大切に次世代へと引き継いでいかななくてはなりません。

関連記事は次のアドレスで読めます。

原爆資料館 展示入れ替え 広島 60点27日から公開

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=103854>

負傷しながら救護に尽力 被爆神父の歩み紹介 広島平和祈念館

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=103888>

広島市の被爆者 田中さん宅 平和交流の場 来訪5000人突破 日英語で証言 オンラインも

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=104086>

被爆当日ネガ 市重文に 元本社カメラマン松重美人さん撮影の5点 広島市教委、初指定

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=104283>

日本批准へ署名活動開始 核禁条約で広島市の被爆者7団体

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=104216>

このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5

(公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課


TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/statements/newsflash.html>

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉 

<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉 

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！